
当社のガバナンスについて

2021年3月
稲畑産業株式会社

1. 会社概要と中期経営計画	・・・ P 3
2. コーポレート・ガバナンス	・・・ P 14
3. 新型コロナ関連	・・・ P 26
4. 人財の育成	・・・ P 27
5. 中期経営計画の注力分野	・・・ P 28

会社概要と中期経営計画

稲畑産業とは、

1. 創業1890年

1890年 京都において、稲畑染料店として発足
その後、ケミカル分野を中心に事業を拡大



稲畑染料店（京都・西陣）

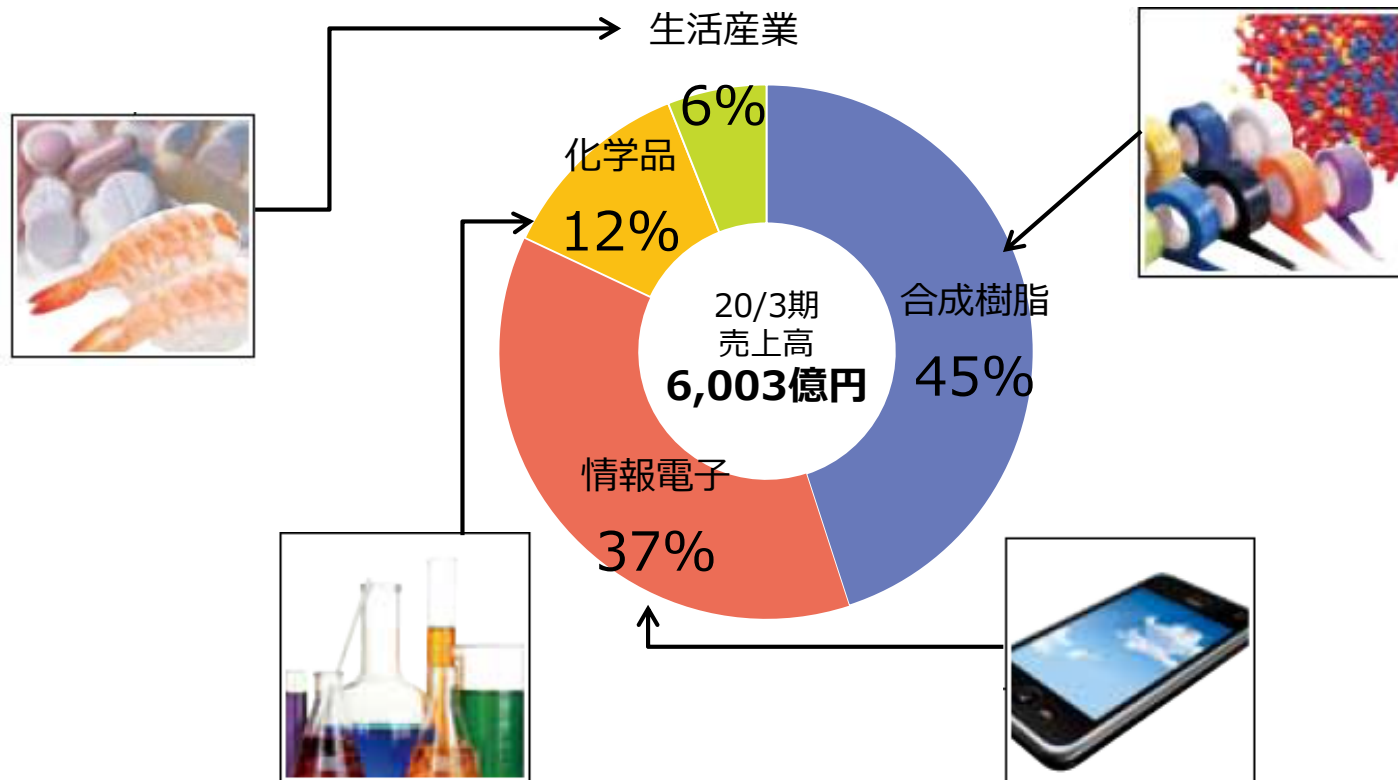
2. グローバルに複合展開する商社

世界17カ国に約60拠点を展開
市場開発、製造加工、物流、ファイナンス等の機能
商品やマーケットの専門知識・ノウハウに基づく企画・提案

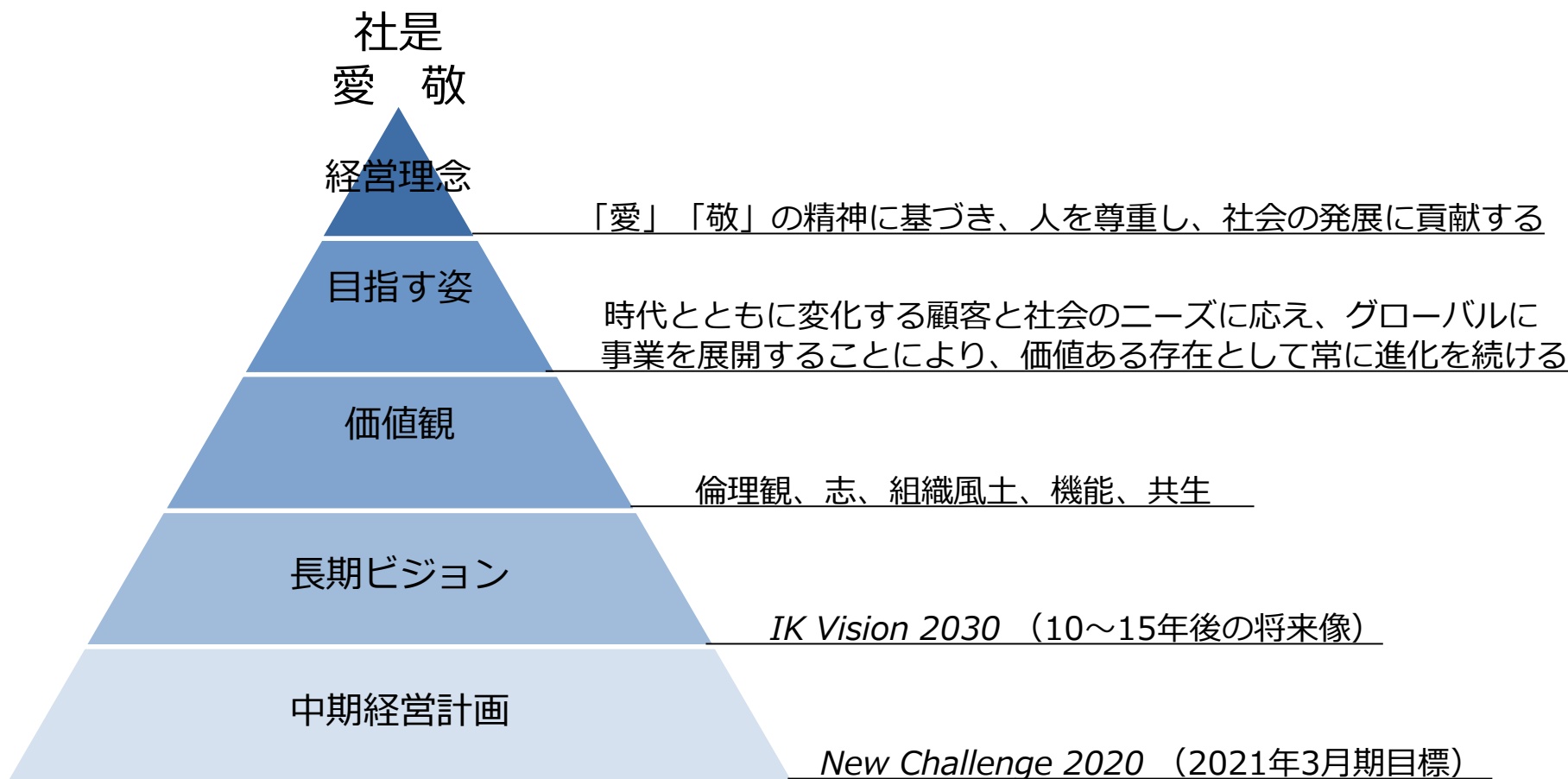


3. 4つの事業分野

情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂の
4分野で事業を展開



◆ 中期経営計画 (NC2020) 策定にあたり、当社が目指す長期ビジョンを策定
(2017年5月)



◆今後10～15年後を念頭に、将来像を想定

機能 : 商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイナ等の複合的な機能の一層の高度化を図る

規模感 : 連結売上高 1兆円以上を早期に実現

海外比率 : 70%以上

ポートフォリオ : 情報電子・合成樹脂以外の事業の比率を1/3以上に

[2017年5月策定]

1 海外事業の更なる拡大と深化

2 成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- ・自動車、ライフインス・医療、環境・IT/ITC分野へ引き続き注力
- ・農業を含む食品分野への新たな展開

3 グローバルな経営情報インフラの高度化

- ・グループ全体最適の徹底
- ・海外事業のマネジメントの高度化と標準化

4 商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化

- ・商社ビジネス拡大を主たる目的としたマイノリティー投資の実施
- ・リスク・金額を限定したマジョリティー投資の検討

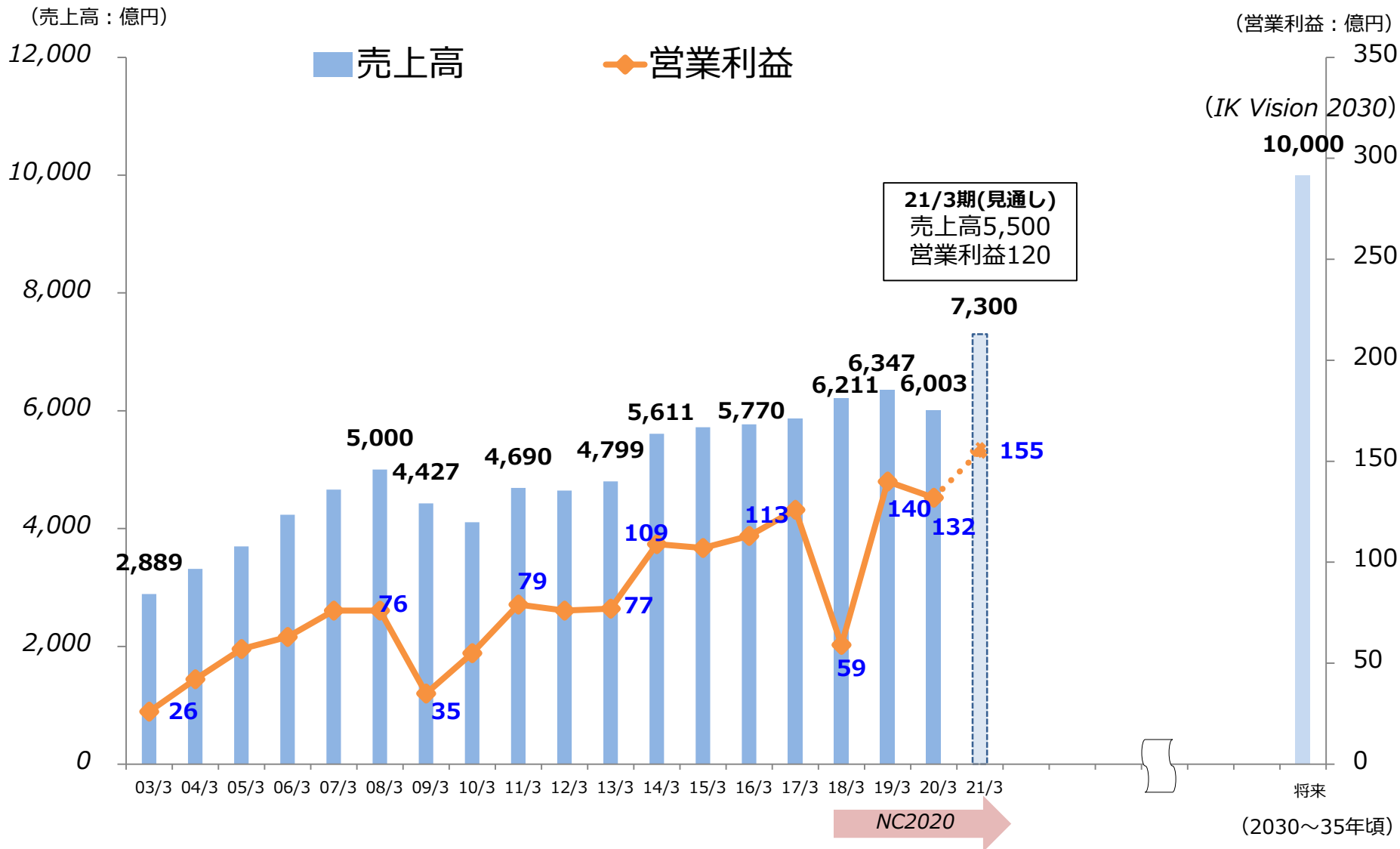
5 保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化

6 グローバル人材マネジメントの確立

◆2021年3月期を最終年度とする4年間の中期経営計画

定量目標	2021年3月期
売上高	7,300億円
営業利益	155億円
経常利益	160億円
親会社に帰属する 純利益	120億円
ネットD/Eレシオ	0.4以下
想定為替レート	USD1=110円

売上高・営業利益 推移



※ 18/3期 欧州子会社において貸倒引当金66.5億円を計上

海外の売上高・営業利益 推移

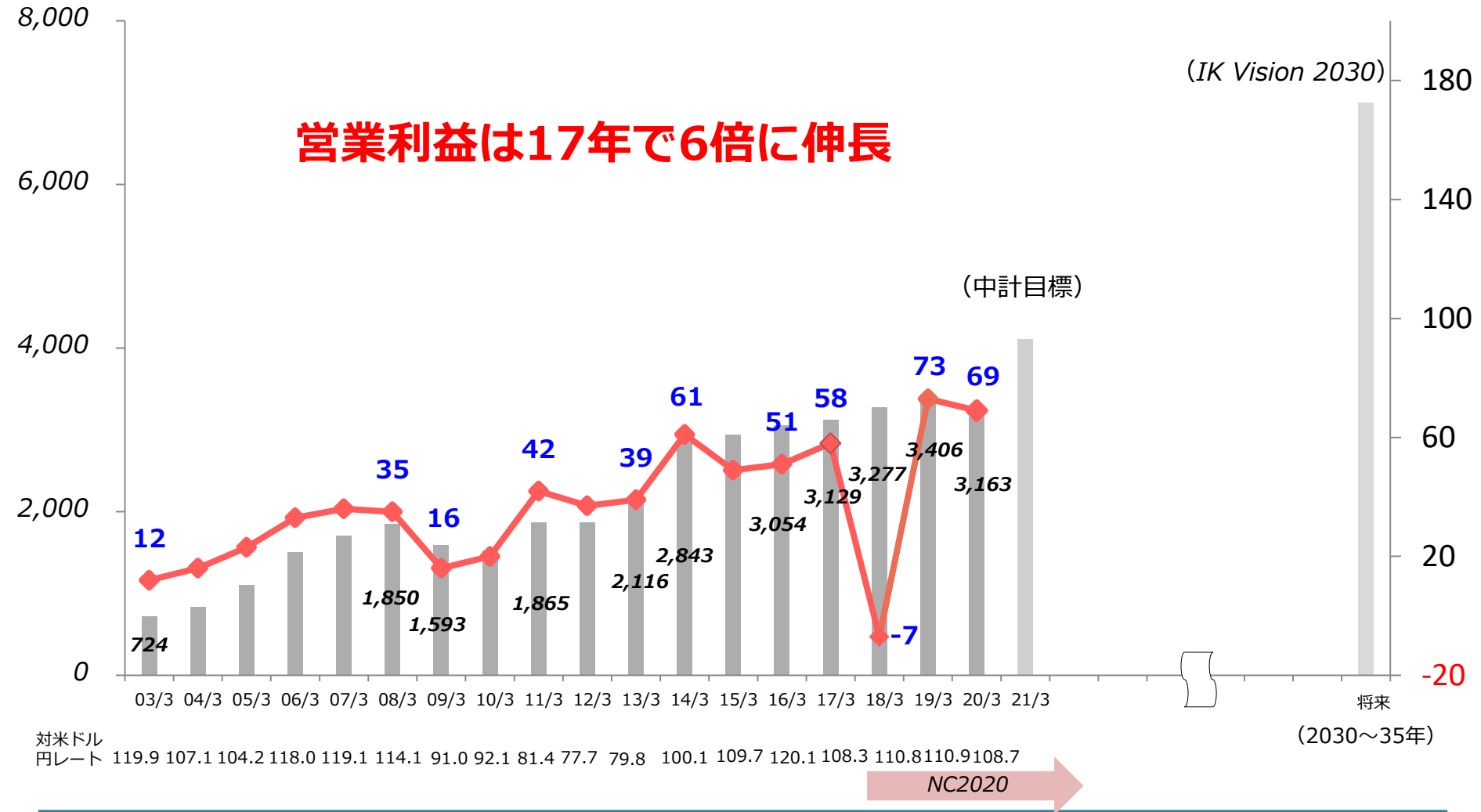


(売上高：億円)

■ 売上高 ◆ 営業利益

(営業利益：億円)

営業利益は17年で6倍に伸長



総還元性向 30～35%目安

2021年3月期（予想）

1株当たり配当金： 63円

【中間 20円（実績）、期末 43円（予想）】

【自己株式の状況】

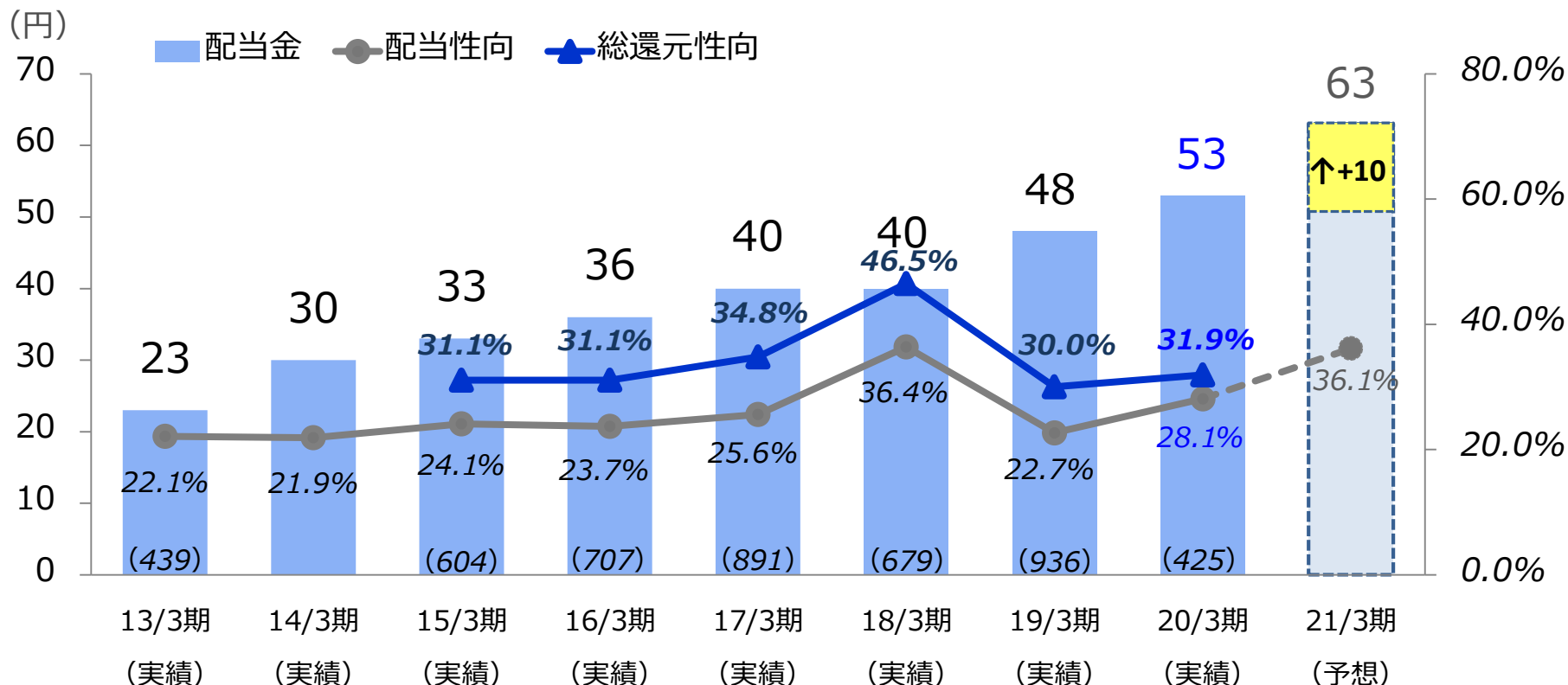
●消却の実績（2014年8月実施）

消却した株式数 1,660,000株
（消却前の発行済株式総数に対する割合 2.55%）

●自己株式取得 実施内容（2020年3月期）

・取得株式数 300,000株
・株式取得価額 425百万円

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



- ・2021年3月期（予想）配当額は+10円の上方修正をいたしました。（2021年2月25日開示）
- ・棒グラフ下部のカッコ（）内は、期中に実施した自己株式取得額（百万円）

コーポレート・ガバナンス

当社の経営理念・目指す姿の達成には、
強固なコーポレート・ガバナンスの基盤が不可欠

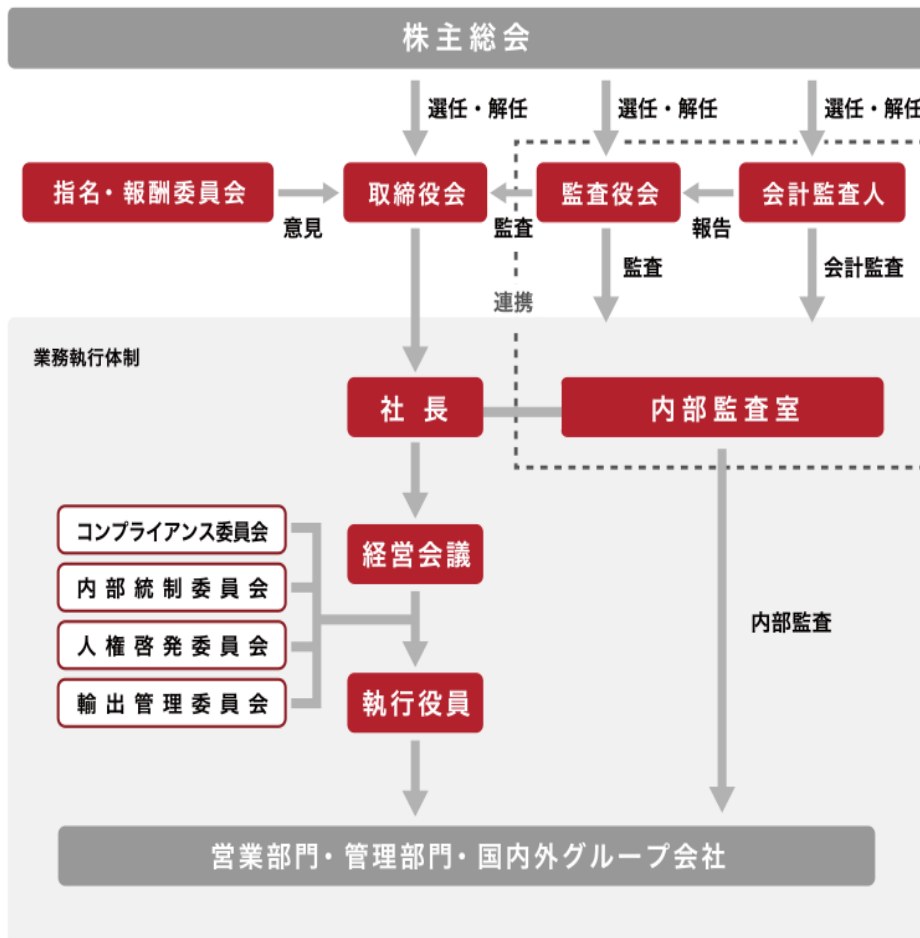
→ 体制の整備・強化を進める

【経営理念】

「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、
社会の発展に貢献する

【目指す姿】

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける



取締役会の意思決定

会社経営に関する高い見識や専門性を持った社外取締役が出席

監査役会設置会社

高い専門性と独立性を備えた複数の社外監査役を含む監査役による監査

ガバナンス強化に向けた具体的取り組み



取締役会の多様性を保ち、監督機能を強化することで、
バランスのとれた客観性・透明性の高い取締役会を目指す

2006年6月 定時株主総会
取締役の任期を2年から1年に短縮

2015年11月
指名・報酬委員会（任意）の設置
取締役会評価の実施

社外取締役の人数推移

時期	取締役 人数	うち、社外取締役（独立）
2013年6月 定時株主総会	11名	2名（1名）
2014年6月 定時株主総会	10名	2名（1名）
2015年6月 定時株主総会	9名	3名（2名）
2020年6月 定時株主総会	10名	3名（3名）

- 2021年1月31日の出口敏久取締役退任に伴い、取締役総数は10名から9名になりました。

取締役会の構成（社外取締役）

社外取締役 3名（取締役 9名中）

会社経営に関する豊富な経験と幅広い見識を、当社の経営に活かしていただくことで、監督機能の強化を図り、企業価値向上を目指します。



蟹澤 俊行*

経歴

東京ガス(株)
元代表取締役副社長執行役員

選任理由

エネルギー業界のリーディング・カンパニーの経営者として豊富な経験をされているため。



佐藤 潔*

経歴

東京エレクトロン(株) 元代表取締役社長
現 芝浦機械(株)およびマツダ(株)社外取締役

選任理由

半導体及びフラットパネルディスプレイ製造装置のリーディング・カンパニーの経営者としてグローバルで豊富な経験をされているため。



濱島 健爾*

経歴

ウシオ電機(株) 元代表取締役社長兼執行役員社長

選任理由

光応用製品並びに産業機械等を扱うメーカーの経営者としてグローバルで豊富な経験をされているため。

・ (*) 蟹澤氏、佐藤氏、濱島氏は東京証券取引所に独立社外役員として届出。

・ 2021年1月31日の出口敏久取締役退任に伴い、取締役総数は10名から9名になりました。 Copyright © INABATA & CO., LTD. 2021

社外監査役 3 名（監査役5名中）

社外監査役は財務・会計・法律などに関する専門性や高い独立性などを備え、取締役会の意思決定、取締役の業務の執行を監視する役割を果たしています。

氏名	①経歴 ②選任理由
高橋 慶孝*	①上場会社の監査役経験者 ②上場会社の監査役経験者であり、豊富な経験と幅広い見識を活かして客観的、積極的かつ公正な監査を行ってもらうため。
柳原 克哉*	①弁護士 ②弁護士であり、専門家の立場から客観的、積極的かつ公正な監査を行ってもらうため。
玉井 哲史*	①公認会計士 ②公認会計士であり、専門家の立場から客観的、積極的かつ公正な監査を行ってもらうため。

(*) 高橋氏、柳原氏、玉井氏は東京証券取引所に独立社外役員として届出。

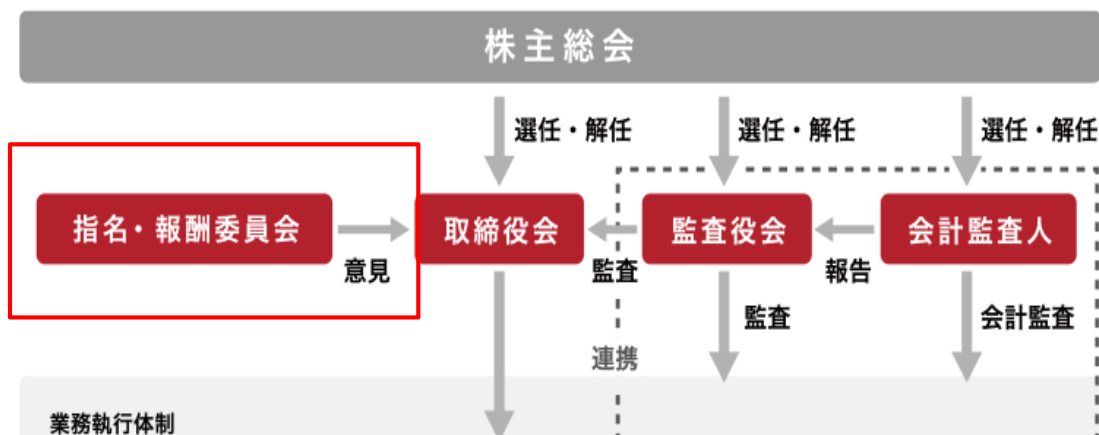
【指名・報酬委員会（任意）】

2015年設置

経営幹部の選解任、取締役・監査役・執行役員候補の指名、
取締役の報酬決定にあたり、客観性、公正性、透明性を確保

独立社外取締役を主要な構成員とする

現構成員：社内取締役 1名（議長）、独立社外取締役 3名



開催実績

2020年3月期

5回

取締役会の実効性と透明性を高め、企業価値を向上させることを目的

- 2017年度
全取締役・監査役にアンケートと個別インタビュー形式による第三者評価を実施
- 2018年度・2019年度
アンケート形式による自己評価を実施
- 2020年度
3年毎の第三者評価を実施

2020年度（第三者評価）

評価結果の概要

- ・ 取締役会の構成・運営状況は、全般的に高評価
- ・ オープンで活発な議論を確認
- ・ 社外役員（取締役・監査役）の貢献
- ・ 指名・報酬委員会の構成・役割・運営状況は適切

= 検討すべき課題 =

- ・ 中長期の経営・戦略のさらなる議論
- ・ コーポレート機能の強化
- ・ 取締役会の構成について、環境変化を見据えた継続的な検証
- ・ 指名・報酬委員会について、取締役会での概要共有

取締役*の報酬

■ 現金報酬

- ・ 固定報酬
- ・ 業績連動報酬：指標は、税金等調整前当期純利益
(一部の政策保有株式の売却益を除く)

■ 業績連動型株式報酬

- ・ 株式給付信託 (BBT)
(2018年6月 中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として導入)

20/3期 業績連動報酬と固定報酬の比率

業績連動報酬 41.3%

固定報酬 58.7%

対象6名
総額 300百万円

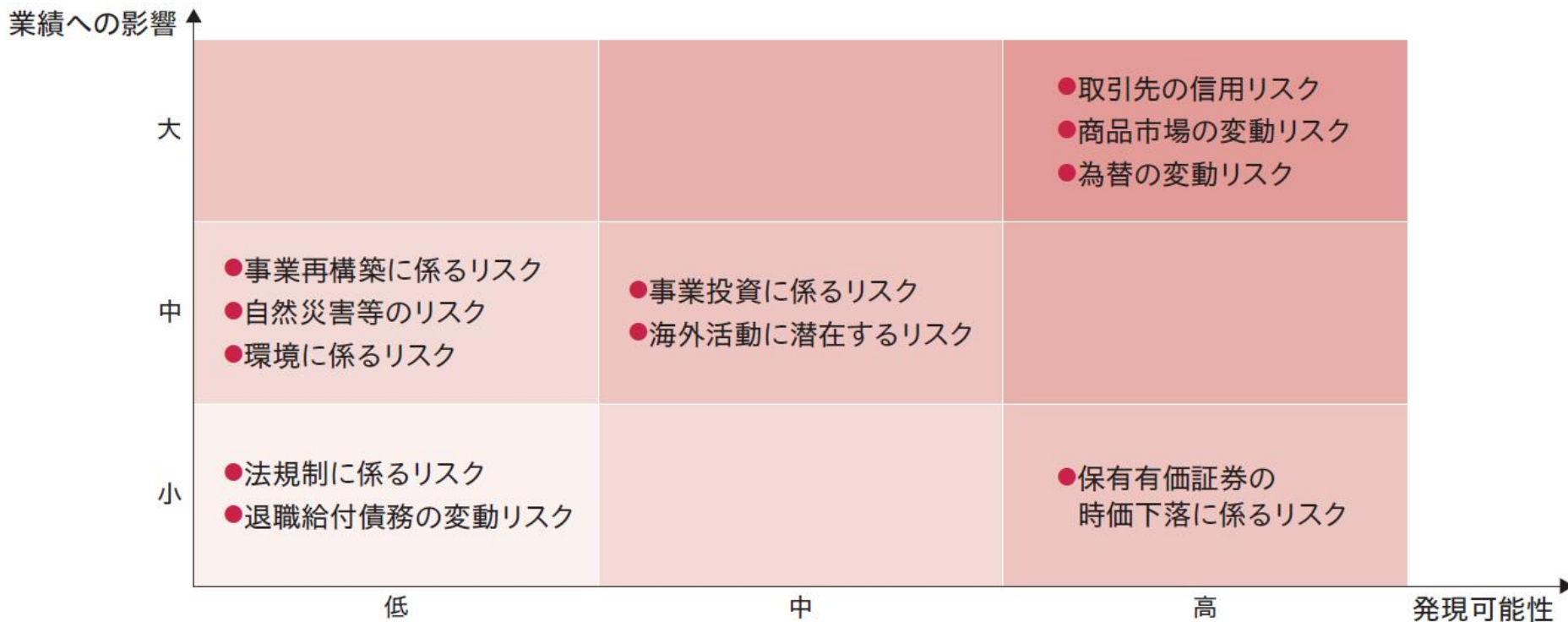
*業務執行取締役等でない取締役を除く

【保有・縮減に関する方針】

- ・ 株式の保有の基準は、協業関係の構築に資するか、中長期的に企業価値を高め、株主の利益に繋がるかどうか
- ・ 毎年、取締役会にて、個別銘柄毎に資本コストを考慮して、総合的に保有の適否を検証
- ・ 保有の意義が認められない株式については、市場や事業への影響、タイミングなどに配慮しつつ、縮減

	その他有価証券 売却額
16/3期	1,421百万円
17/3期	5,150百万円
18/3期	9,106百万円
19/3期	5,395百万円
20/3期	3,134百万円

主な事業等のリスク



・ 事業継続計画 (BCP)

2018年より、国内外グループ会社を含む主要拠点にて、策定・導入を推進中

【事業への影響】

■ 見通しの想定

当期中は影響が残りつつも、当第1四半期に経験したような経済の急激な落ち込みはなく、世界及び日本の経済環境は、2021年3月末にかけて緩やかに回復に向かう。

マイナスの影響が大きい事業・分野

事業別：合成樹脂事業、化学品事業

分野別：自動車分野など

地域別：東南アジア

プラスの影響がある分野

巣ごもり需要（ノートP C、ゲーム機、冷凍野菜など）

【感染防止対策】

社員の健康と安全を第一に考え、また地域社会に負担をかけないように、
感染防止対策の徹底

✓ 在宅勤務比率※ 50～70%を継続

✓ オンライン会議システムの利用

「人財」と「情報」が強み 最も重要な財産である「人財」の育成について

◆サクセッションプラン

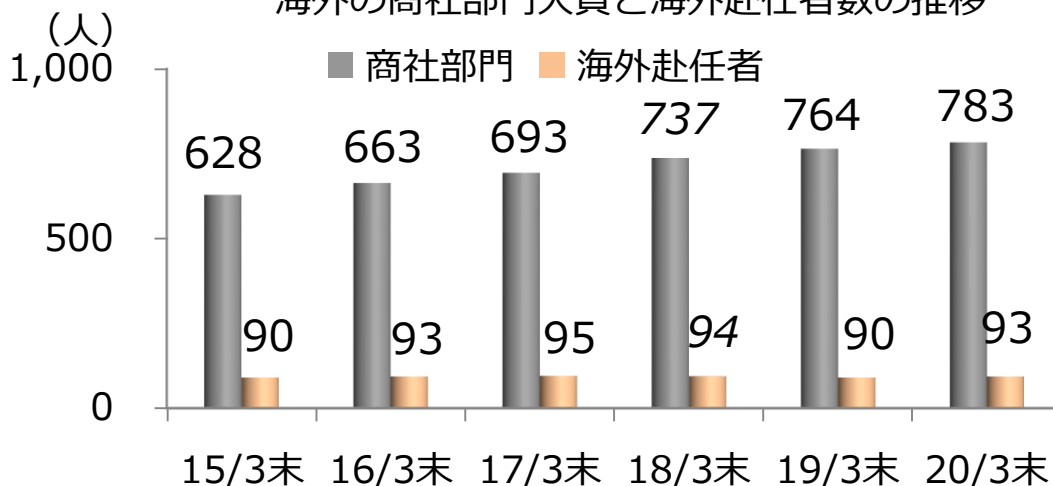
◆当社の強みである現場力を更に強化するための取り組み

- ・グローバル人財の育成
事例：Global Staff Meeting、理念浸透ワークショップ
(14カ国36拠点、700名超のナショナルスタッフが参加)
- ・ダイバーシティへの取り組み
- ・商社人財の基礎研修
- ・海外拠点向け研修



【社長 稲畑勝太郎】

海外の商社部門人員と海外赴任者数の推移



【Global Staff Meeting】

(注) 各海外赴任者数は、翌月の1日現在の人数

①自動車分野

②環境・エネルギー分野

「創エネ」に加え「蓄・放・省エネ」ビジネスの展開

③ライフサイエンス・医療分野

医薬原料・中間体

再生医療などの先端医療

④農業を含む食品分野

野菜、果実などの農産物の栽培・販売

加工拠点の構築と加工品の販売



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。